

## 理化学研究所アドバイザー・カウンシル (RAC) 第3回会議の開催について

理化学研究所は、5月31日から6月5日までの6日間、理化学研究所アドバイザー・カウンシル (RAC) の第3回会議を開催します (参考資料1)。

このRACは、理研の更なる発展のため、理事会議の運営方針を含めて理研の活動全般を評価し、理事長に対して助言、提言を行うもので、今回から3年毎に開催することとしています。

今回のメンバーは、ノーベル賞受賞者を含む世界的な科学者15人 (日本人5人、外国人10人) です (参考資料2)。

1. 理研ではかねてより、研究室部門における7年毎の研究業績レビュー、フロンティア研究システムにおける中間レビューなど、個々の研究活動、研究プログラム毎の外部評価を進めてきました。これに対し、RACは、研究所全体としての研究活動、特に研究所のマネジメントを評価するものです。
2. RACの第1回会議 (平成5年6月開催) および第2回会議 (平成7年6月開催) では、理研が優れた研究成果を挙げていること、RACも含めて研究計画の質を評価する制度を備えていること、優れた研究設備を整備するとともに外部研究者への開放を積極的に進めていること等が高く評価されましたが、終身職研究員の採用方法の改善、若手の終身職研究員が主任研究員から独立して研究プロジェクトを主宰できるような仕組の整備、外国人研究者への支援業務の充実等の項目について提言がなされ、理研では、これら提言を踏まえさまざまな改善策を講じてきました。
3. 今回の第3回会議では、前回の会議以来理研が講じてきた改善策を説明するとともに、理研の活動全般を改めて評価してもらい、さらなる発展のために助言、提言をいただくことを期待しております。今回の議長は、Sir Gordon Higginson (サザンプトン大学前副学長) が指名されております。

(問い合わせ先)

独立行政法人理化学研究所

アドバイザー・カウンシル事務局

村上

Tel : 048-467-9223 / Fax : 048-462-4600

(報道担当)

独立行政法人理化学研究所 広報室

佃、吉垣

Tel : 048-467-9271~2 / Fax : 048-462-4715

Mail : ftsukuda@postman.riken.go.jp

## <参考資料 1>

### 1. 設置の趣旨

理化学研究所（以下「理研」という。）は、物理学、化学、工学、生物科学、医学と非常に幅広い基礎科学及び科学技術分野にわたり、独特の研究室制度、フロンティア研究システムにより、自由な雰囲気のもとで自律的な研究を行うことができる、大学等とも、国立研究機関とも異なる独特な研究機関である。このような自由で、柔らかな研究環境のもとで、理研は、80余年にわたって多くの優れた研究成果を生み出してきた。

自由であり、自律的であることは、自然科学の研究のためには必須の条件であるが、その反面、一人よがりの独善的であってはならず、公正な第三者そして社会からの批判、助言に対して、常に謙虚でなければならない。RACの設置の目的は、研究所の運営にあたる理事会が、その助言によって、自ら気付かなかった長所を発見し、または欠点を認識し、さらに将来への大きな発展の方向を探求しようとするものである。これらによって、理研を国際化社会の中で価値ある研究所に仕上げたいこうとするものである。

### 2. RACの機能

RACは、(今回より)3年ごとに、理事会の運営方針を含めて理研の活動全般をレビューし、理事長に対して次の助言、提言を行なう。

1. 研究の衰退、低下を防ぎ、研究活動を活性化する方策の提言
2. 研究資源の投入量を増加し、さらに発展させるべき研究分野の指摘
3. 新しい発展の方向の示唆、特に、新分野への取組みの提言
4. 理研の国際化及び国際協力の推進のための方針
5. その他、理研発展のための施策の提言

### 3. RACの構成

1. RACは、国内外の15人の有識者をもって構成する。
2. 委員は、3年ごとに三分の一ずつ交代するものとする。
3. 委員の選考は、理事長を委員長とする選考委員会が行う。

### 4. RAC第3回会議の開催

1. 日時:1998年5月31日から6月5日の6日間(日程は別紙のとおり)
2. 場所:和光、姫路

## <別紙>

### 第3回 RAC 会議日程 (案)

5月31日(日) (帝国ホテル)  
18:30-20:30 予備会議

- 6月 1日(月) (和光)**  
 9:30-12:30 理研からの全体説明  
 - 前回 RAC からの提言への対応を含め、その後の期間の理研運営の進展、今後への方針等を説明 -  
 14:30-17:00 会議の進め方、報告書の作成についてのメンバーのみの会議
- 6月 2日(火) (和光)**  
 9:30-12:30 サブグループ・セッション  
 (物理学、化学、工学、生物科学、医科学)  
 - 主任研究員等による説明、ディスカッション、研究サイト訪問 -  
 13:30-17:00 サブグループ・セッション (続き)  
 20:00-22:00 RAC 委員サブグループごとの会合
- 6月 3日(水) (和光、筑波)**  
 9:30-12:00 サブグループ・セッション (続き)  
 12:00-12:30 合同サブグループ委員会合  
 - 研究部門補足説明 -  
 14:00-17:00 所属サブグループ以外の研究部門訪問  
 19:00-22:00 全体会議 (RAC メンバーのみ)  
 - サブグループ報告書作成 -
- 6月 4日(木) (移動、西播磨)**  
 14:00-16:30 播磨研究所、大型放射光施設視察  
 - 放射光による研究および運営等説明 -  
 19:00-22:00 全体会議 (RAC メンバーのみ (ホテルサンガーデン姫路))  
 - 総括報告書作成 -
- 6月 5日(金) (ホテルサンガーデン姫路)**  
 9:00-12:00 全体会議 (RAC メンバーのみ)  
 - 総括報告書作成、提言とりまとめ -  
 13:30-16:00 全体会議 (RAC メンバー及び理研役員)  
 - RAC から理研理事会議への報告及び閉会 -

(注) この RAC 会議日程 (案) は、6月 1日の午前中の会議に提案されるものであり、変更される場合がある。

**List of RAC Members(第 3 回)**  
**(開催日: May 31-June 5, 1998)**

**PHYSICS**

インドレック・マーチンソン ルント大学教授 (スウェーデン)  
 (X線分光学、高エネルギー物理学、物性物理学)

Prof. Indrek Martinson

Dept. of Physics, University of Lund, Sweden

\*田中豊一 MIT 教授 (米国)

(コロイド)

Prof. Toyoichi Tanaka

Dept. of Physics, MIT, U.S.A.

\*ジョン・P・シフアー シカゴ大学教授, アルゴンヌ国立研究所 (米国)

(原子核物理、天体核物理、加速器物理 (個体ビーム)、新現象 (メスバウアー))

Prof. John P. Schiffer

Physics Division, Argonne National Laboratory, U.S.A.

## CHEMISTRY

朽津耕三 城西大学教授、東京大学名誉教授

(気体分子の構造と動力学)

Prof. Kozo Kuchitsu

Dept. of Chemistry, Josai University

Professor Emeritus, University of Tokyo, Japan

ハインツ・A. スターブ マックスプランク医学研究所、前マックスプランク研究  
協会総裁 (ドイツ)

(理論有機化学)

Prof. Heinz A. Staab

Director, Organic Chemistry Dept., MPI for Medical Research, Germany

\*ジェームス・J・ターナー ノッティンガム大学教授 (英国)

(無機物理化学)

Prof. James J. Turner

Department of Chemistry, University of Nottingham, U.K.

## ENGINEERING

●ゴードン・ヒギンソン 前サザンプトン大学副学長 (英国)

(トライポロジー)

Sir Gordon Higginson

Former Vice Chancellor, University of Southampton, U.K.

ハインリヒ・ローラー 前 IBM 銑椅・研究所 IBM フェロー (スイス)

〈第2回 RAC 副議長〉〈工学分科会ラポラトゥール〉

(走査型トンネル電子顕微鏡の発明で 1986 年ノーベル物理学賞受賞)

Dr. Heinrich Rohrer

IBM Researcher, Rüschlikon, Switzerland

尾上守夫 (株) リコー技術最高顧問、東京大学名誉教授

(画像処理等)

Prof. Morio Onoe  
Professor Emeritus, University of Tokyo  
Executive Adviser, Ricoh Co., Ltd., Japan

## **BIOLOGICAL SCIENCES**

M・ウゴ・パルマ パレルモ大学教授（イタリア）  
（生物物理学、固体物理学）

Prof. M. Ugo Palma  
Professor of Physics, Palermo University, Italy

t 江橋節郎 前岡崎国立共同研究機構長  
（薬理学、生物物理学、分子生理学）

Prof. Setsuro Ebashi  
Former President, Okazaki National Research Institute, Japan

\*ラッセル・L・ジョンズ カリフォルニア大学教授（米国）  
（植物生理学）

Prof. Russell L. Jones  
Dept. of Plant and Microbial Biology, University of California, Berkeley, U.S.A.

## **MEDICAL SCIENCES**

\*ヘンリー・G・フリーゼン教授  
カナダ医学研究委員会総裁（カナダ）  
（内分泌学）

Prof. Henry G. Friesen  
President, Medical Research Council of Canada, Canada

\*井村裕夫 前京都大学総長  
（内分泌学、糖尿病学）

Prof. Hiroo Imura  
Former President, Kyoto University, Japan

\*モシェ・ヤニフ パスツール研究所教授（イスラエル、仏国）  
（分子生物学）

Prof. Moshe Yaniv  
Dept. of Biotechnology, Institut Pasteur, France

●：議長

\*：新メンバー(7人)

t：Medical Sciences から Biological Sciences に移動